

平成 30 年 5 月 25 日

HIRATSUKA KYOUKAIHOU

70th

No.254

平塚協会報

発行所：公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部
発行責任者：田中 和義

創立70周年特集号

支部長就任のご挨拶

関西ペイント(株) 平塚事業所 事業所長 松野吉純



先の定時総会において、会員皆様のご賛同の下、平成 30・31 年度の支部長を拝命する事となりました。

平塚支部は、今年 70 周年の節目を迎えます。今日までの諸先輩方々の功績を鑑みますと、責任の重さに身の引き締まる思いです。今後も長い歴史を誇る当支部の発展のため、会員の皆様のご協力を頂きながら尽力していきたく存じますので、宜しくお願い致します。

さて、今年は厚生労働省策定の第 13 次労働災害防止計画への移行の年となります。第 12 次労働災害防止計画（平成 25 年～平成 29 年）中の平塚労働基準監督署管内の状況を振り返りますと、残念ながら死亡災害ゼロ目標及び休業 4 日以上之死傷者 386 人以下の目標をいずれも達成できませんでした。引続き、安全に安心して働ける職場づくりのための労務安全衛生に関する普及・啓発を推進し、第 13 次労働災害防止計画中では、是非ともゼロ災害目指して取り組んでいきたいと思ひます。また、支部の活動に際しては、平塚労働基準監督署をはじめ市行政及び関係諸団体のご指導とご支援、会員の皆様により一層のご協力を仰げますよう、精一杯努めて参る所存です。最後に、10 月に横浜で 25 年ぶりの全国産業安全衛生大会が開催されます。既に事例研究発表会への応募等でご協力して頂いておりますが、本部から参加者の呼掛けや会場運営のお手伝い等の要請を受け、会員の皆様には多大なご負担をお掛けする事があろうかと思ひます。重ねてご理解とご協力を頂きます様お願い申し上げます。支部長就任のご挨拶とさせていただきます。

支部長退任のご挨拶

横浜ゴム株式会社 中澤和也



このたび、社内の異動により 3 月 29 日をもちまして、平塚支部長を退任致しました中澤でございます。退任に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

私は、平成 29 年 7 月から約 9 ヶ月間という短い期間でしたが、平塚支部長という大役を勤めさせて頂き、このたび大過なく退任を迎える事が出来ました。これも、平塚労働基準監督署や諸団体のご支援・ご指導、平塚支部役員や会員事業場の皆様のご理解・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。個人的にも、支部活動や各種行事を通じて、関係官庁や諸団体、多数の企業幹部方々のご厚誼を賜る事が出来、有意義な経験をさせて頂きました。なお、後任には、弊社の塚田 修一が就任することとなりましたので、短い期間ではありますが、何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、わが国の経済は、国内好景気を受けての株価の上昇、雇用安定など回復基調で推移しています。一方、世界を見渡せば、米国ではトランプ政権の誕生、英国の EU 離脱、中東からの大量難民の現出等々、各国で相次ぐテロの脅威と、緊迫する北朝鮮情勢への対応などにより、国際情勢は非常に不安定な状況が続き、世界経済は不確実性を増しております。このような状況の中でも、我々は企業活動を進める大前提として「安全衛生は全てに優先する」という信念のもと、真に安全で健康に皆が働くことが出来る職場を構築すべく、会員事業場の皆様が強力に連携し、労働災害撲滅をはじめ、労働安全衛生の諸活動を着実に確実に推進頂くことを切に希望致します。

最後に、これまでに賜りました数々のご厚誼に感謝申し上げますと共に、関係行政の皆様、平塚支部と会員事業場の皆様方の益々のご発展、および関係各位のご健勝を祈念申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

平成 30 年 年間標語

健康な心と体で安全作業 目指すは笑顔の無災害

創立 70 周年によせて

平塚労働基準監督署長 池田有他



(公社) 神奈川労務安全衛生協会
平塚支部及び会員事業場の皆様方
におかれましては、日頃から労働
災害防止、労働条件確保等当署の
行政運営に多大なるご支援・ご協
力を賜り、感謝申し上げますと
ともに支部創立 70 周年、誠に
おめでとうございます。

私は、4 月 1 日付けで前任の湯川の後任として当署へ赴任
いたしました池田と申します。前任同様どうかよろしく願
いいたします。実は、神奈川では相模川より西に位置する監
督署勤務は厚木署以外になく、当然、平塚の勤務は初めてで
すので管内事情については勉強中であります。

さて、平塚支部創立 70 周年に向けてコメントをと仰せつかり、
先ず「ええ、70 年?」と耳を疑いました。70 年前といえ
ば労働基準法の施行の年、戦争直後ということになります。

貴支部の廣澤事務局長からお話を聞くと、何と法施行・
労働基準監督署の設置と同時の昭和 22 年 9 月に「産業安全
衛生協会」として発足をしたとか。

すばらしい歴史と伝統を持った支部だなど驚きました。

私が貴協会と直接関わらせてもらうようになったのは、北
海道局から神奈川局にきた平成 2 年から 6 年経過し横浜西
監督署の第一課長をやった平成 8 年頃からでしょうか、他県
では同じ性格の団体は労働基準協会という名称が多いのです
が、貴協会は独自の名称を貫いておられ、他県に先駆けて独
自の活動を行ってこられたのだと感じておりました。

記憶が曖昧ではありますが、その時期は安全衛生協会に
「労務」が付いて「ロウアンキョウ」から「ロウアンエイキ
ョウ」に組織が変わって直ぐくらいで、当時は労務部会の独
自性が強かった印象がありますが、そのときも、監督署の職
員と厳しいやりとりがあったことや、親身になってくれた署
長や課長のことなどの、こぼれ話・思い出話をたくさん聞か
されたものでした。

平塚支部の歴史からして、そのような話は貴支部会員の皆様
自身や先輩から聞かされエピソードもたくさんあるでしょう。

また、創立時は平塚も他の軍需施設を持った都市と同様大
空襲の被害を受けたほんの 2 年後ですから、当時、創立にた
ずさわった方々の苦労は並々ならぬものであったことは想像
に難くありません。

労働基準法施行の年を出発点として、高度成長期、労働安
全衛生法施行（昭和 47 年施行）、石油ショック、労働時間
週 40 時間制導入、バブル経済・崩壊、リーマンショックな
ど様々な出来事を経て、今後は「働き方改革」が進められて
いくこととなるでしょうが、貴支部の伝統と結束は揺るぎな
いものであり、着実に取組んでいただけるものと確信してお
ります。

これからも 100 年、150 年の記念行事が行えることを祈念
して、70 周年に寄せる言葉とさせていただきます。

創立 70 周年を祝して

(公社)神奈川労務安全衛生協会 専務理事 渡辺 辰



平塚支部の皆様、創立 70 周年、
人に置き換えれば古希を迎えたとい
うことになりますが、誠に
おめでとうございます。

これまで多くの先人の方々が真
摯な思いに駆られ、人事・労務管
理や労働安全衛生水準の向上に、
また働く人の健康増進などに地道

な努力を積み重ね、惜しみないご尽力を続け、他に類例をみ
ないほどの活発な支部活動を展開してこられた賜物であり、
地域社会への貢献という名誉ある歴史であります。

元々平塚支部は、平塚労働基準監督署管内の 3 市 2 町に
わたる比較的広い地域をカバーしており、県央南部の商工業
の中心地である平塚市を中心に、戦後工業化が進んだ周辺都
市が混然一体となった田園工業地帯であります。

平塚支部の活動で特記すべきことは、会員ニーズに沿っ
て技能講習を支部地域内で行なってきたことや比較的広範囲
にまたがる地域であることから地区会活動を充実させて支部
運営をしてきたことであり、会員事業場のニーズを的確に把
握し、時宜を得た様々な講習会や研修会などを積極的に開催
するなど幅広く会員事業場に親しまれる支部活動を展開して
きたことであります。

さて働き方改革が叫ばれ、労働生産性を高めて個人所得を
拡大することにより、企業の生産性と収益力の向上を果た
し、日本経済の再生による経済成長を達成しようという大き
な曲がり角に立たされています。

こうした環境の変化を踏まえ、これから先を見据えて未来
につながる新たな一步を踏み出そうとする時、支部が果たす
べき役割・使命は一段と大きくなり、その存在感はさらに重
みを増してきます。

これからも労働基準監督署のご指導・ご鞭撻を賜りなが
ら、新たな未来に進んでほしいと思います。

会員事業場の益々のご発展をご祈念申し上げ、お祝いの言
葉とさせていただきます。



70 周年を祝して

元事務局長 栗田忠治



突然の寄稿依頼に驚いていますが、神奈川労務安全衛生協会平塚支部の70周年を迎えられたことに対し、心からお祝い申し上げます。

さて、どんなことを書けばよいかと迷い、60周年記念誌を紐解き改めて、あんな事こんな事が、あったんだなあと思い出に耽ってしまいました。

私が、事務局に赴いたのが平成10年1月でした、前任の事務局長から引き継ぎを3ヶ月で、当時は50周年記念事業準備の最中でした、行事終了後不安な中で、正式に4月から事務局長として着任することになり、以来9年7ヶ月お世話になりました。

その間、色々な事がありましたが、各事業所をはじめ、平塚労働基準監督署等、関係機関のご指導を頂き大過なく終える事ができたと思っております。特に、庶務・経理等担当して頂いた安部川さんには、大変なご苦労をかけた事に感謝しています。

事務局としては、年間の各種行事計画の策定と(労基法に基づく安全教育等)その展開、また会費徴収等々、特に、会場の確保には苦労しました。それでも講師を担当して頂いた皆様のご協力のおかげで、何とか乗り切ることが出来たと感謝しております。また、在任中に情勢の変化等もあり、会員会社が減少して行ったことには、大変淋しい思いをし事務局の力足らずだったのかと反省させられた事等も、昨日の事の様に思い出されます。

私が、退任した翌年が60周年でした、それから10年早いもので70周年、自分の記憶もおぼろげでまとまった文章にはなりませんでしたが、神奈川労務安全衛生協会平塚支部が地域の会員事業場の安全を見守る基盤として、その存在感を構築され、ますます発展される事を祈念して、筆をおきます。誠に

前事務局長 福岡洋一



(公社)神奈川労務安全衛生協会平塚支部創立70周年、これだけの永きに亘り支部の運営が継続できたのも一重に、会員事業場の皆様、創成期より現在に至るまでの諸先輩の方々、協会本部平塚労働基準監督署、他関係自治体諸団体、等々の尽力・支援・協力の賜物であることに感謝をし、更に深化した関係作りの下、80周年~100周年へと継続・発展されることを心から祈念しています。

会員事業場の『永久無災害・無事故』実現のため平塚支部のミッションは続く・・・

70周年誠におめでとうございます。

事務局より御挨拶

事務局長 廣澤正子



会員事業場の皆様には、日頃からのご協力に感謝申し上げます。

定年後、事務局に入職して、早いもので8年になろうとしております。振り返ればあっという間の時間だったような気がしております。60周年記念式典には、いち参加者として特別講演を聴いたことが思い出され、創立70周年記念行事に係わった自分自身を不思議な気持ちで眺めています。

今回、支部の歴史を調べるに当たり、古い資料をかき集めて感じたことは、平塚支部は私たちの先輩たちの情熱に支えられてきたということの実感でした。支部事務局としての役割は、地域の特性を生かした平塚独特の地区会や講習会、常に新しい情報提供をしていくことで、会員事業場との「架け橋」になることと考えています。

最後に、次の80周年に向けて事務局として少しでも貢献していきたい、と思っておりますので皆様のますますのご協力をお願い申し上げます。

70周年記念式典・祝賀会

70周年記念式典及び祝賀会が平塚プレジールにて開催されました。記念式典では、ご来賓の落合平塚市長、池田平塚労働基準監督署署長にご挨拶を頂き、手作りの70年の思い出のアルバムの上映、三遊亭白鳥師匠による「笑顔で働く職場づくり」と題した特別講演があり、笑顔の大切さを楽しく聞かせて頂きました。

記念式典に引続き、祝賀会が開催され、松野支部長の

開会の挨拶後、石川副支部長の乾杯のご発声で始まりました。記念式典で特別講演頂いた三遊亭白鳥師匠にも御出席頂き、また、ご出席頂いた歴代支部長のみなさまに、支部長当時の思い出を語っていただきました。

最後に、労務安全衛生協会平塚支部のますますの発展を祈願し、薬丸副支部長の三本締めで締めくくり、祝賀会が滞りなく終了しました。



70年の思い出のアルバムの上映



70年の歩み展示コーナー



特別講演 三遊亭白鳥師匠「笑顔で働く職場づくり」



歴代支部長挨拶



祝賀会風景



祝賀会食事風景

記念アルバム



安全衛生祈願



定時総会情報交換会



神奈川労働局安全衛生表彰式



KYT入門研修



支部産業保健活動委員会研修

平成30年定時総会開催される

4月20日（金）13時より、平塚プレジールにて、（公社）神奈川労務安全衛生協会平塚支部平成30年の定時総会が開催されました。

総会は、司会の横浜ゴム㈱宮崎氏より総会成立宣言がなされ、副支部長の関西ペイント㈱松野氏より開会の辞を述べられた後、支部長の塚田氏が挨拶されました。引き続き会則により、支部長が議長に就任し、書記は日産車体エンジニアリング㈱深堀氏、キャノン㈱平塚事業所森崎氏が選任され、総会がスタートしました。

各議事については以下の通りです。

■第1号議案「平成29年度事業報告」

松野副支部長より事業報告が、廣澤事務局長より、支部の現況と活動実施状況についての報告がなされました。その後各部長より部会実施事項が説明されました。

■第2号議案「平成29年度収支決算報告」

事務局長より収支決算内容の報告があり、スタンレー電気㈱壬生氏より、監査結果相違ない旨の報告が行われました。第1号議案、第2号議案は一括審議され、満場一致で承認されました。

■第3号議案「平成30年度事業計画（案）」

松野副支部長より事業計画（案）及び事業概要の説明、事務局長より補足説明がありました。

- ① 本部の方針に基づき、公益社団法人として社会的責任の重さを認識し、公益目的事業の推進に努める。
- ② 具体的には、法定の技能講習を中心に特別教育や、能力向上教育等を含め、厳正・適正に実施し、労働安全衛生法及び関連法令の普及・啓発に努める。
- ③ 各事業場における労働災害の防止、健康保持増進、適正な労働条件の確保等のための活動を促進し、労働福祉の向上と産業の健全な発展に寄与する事業を進めていく。
- ④ 第13次労働災害防止推進計画の初年度に当たり、平塚労働基準監督署のご指導の下、地域行政、関係団体、近隣支部と連携し安全に安心して働ける職場づくりに取り



組む。

- ⑤ 公益社団法人として、安定した財政基盤の確立が求められる中、一定の規模の受講者確保により、事業収入を安定させ健全な財政基盤の確立をしていく。

以上が基本方針です。つづく事業の概要では、「平成30年度月別事業計画（案）」に基づき活動していきますが、特に今年度は作業主任者技能講習については、さらなる会員事業場の要望に応えるため、新たな技能講習の開催にむけて計画を進める。また、講習会の開催地についても、平塚・秦野地区の他、伊勢原地区の会員事業場の利便性も考えた会場を検討するなど、柔軟な姿勢での企画運営を目指していくことが示された。

■第4号議案「平成30年度収支予算（案）」

事務局長より予算内容の説明がありました。

第3号議案、第4号議案は一括審議され、満場一致で承認されました。

■第5号議案「平成30・31年度支部役員（案）」

事務局長より支部長ほか役員任免の説明があり、満場一致で承認されました。

議事終了後、塚田前支部長と松野新支部長から挨拶があり、ご来賓の（公社）神奈川労務安全衛生協会本部渡辺専務理事様よりご祝辞をいただきました。最後に副支部長代行の市光工業㈱小島氏から閉会の挨拶が述べられ、定時総会は滞りなく終了しました。

佐藤産業㈱ 佐藤 記



平塚支部産業保健活動委員会活動にご参加ください

古河電気工業（株）平塚事業所衛生管理室

眞壁亜紀子



今年4月に平塚支部産業保健活動委員会の委員長に就任しました古河電工の眞壁です。

近年、企業における産業衛生活動は、「健康経営」の考え方の広まりからその重要性を増しています。2017年から進められている「働き方改革」は、「健康経営」とも関連しています。ということは、企業における産業衛生活動は、さらに重要性を増しているのではないのでしょうか？皆様の企業では、これらの取り組みをどうされていますか？

産業保健にかかわるスタッフは少ないし、企業内に相談できる人も少ない、かといって開催される研修会等も都心が多く簡単に参加できない、と日々悩んでいますか？

平塚支部産業保健活動委員会では、そんな皆様の力になるべく、毎年、平塚市近隣での研修会や工場見学会を開催しております。熱意ある委員会メンバーと共に、魅力ある研修会等を企画していきますので、皆様ぜひご参加ください。どうぞ、よろしく願い致します。

監督署新任ご挨拶

平塚労働基準監督署 署長 **池田 有他**



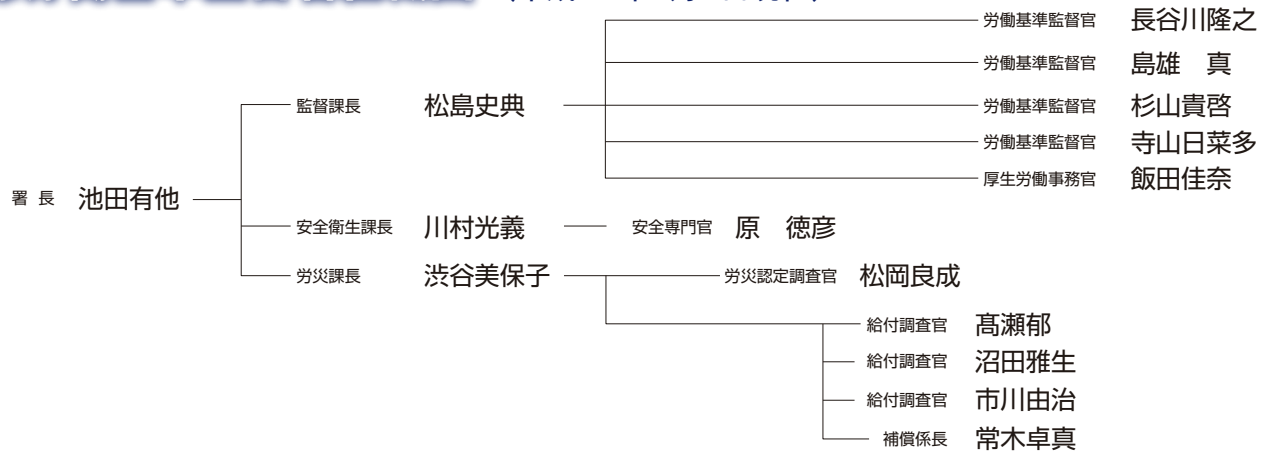
4月1日付けで平塚署へまいりました池田でございます。貴支部と密接な協力関係を結び、労働条件確保（働き方改革）、労働災害防止及び健康保持増進を推進したいと思っておりますので、前任者の湯川同様、どうかよろしくお願いいたします。

平塚労働基準監督署 安全衛生課長 **川村 光義**

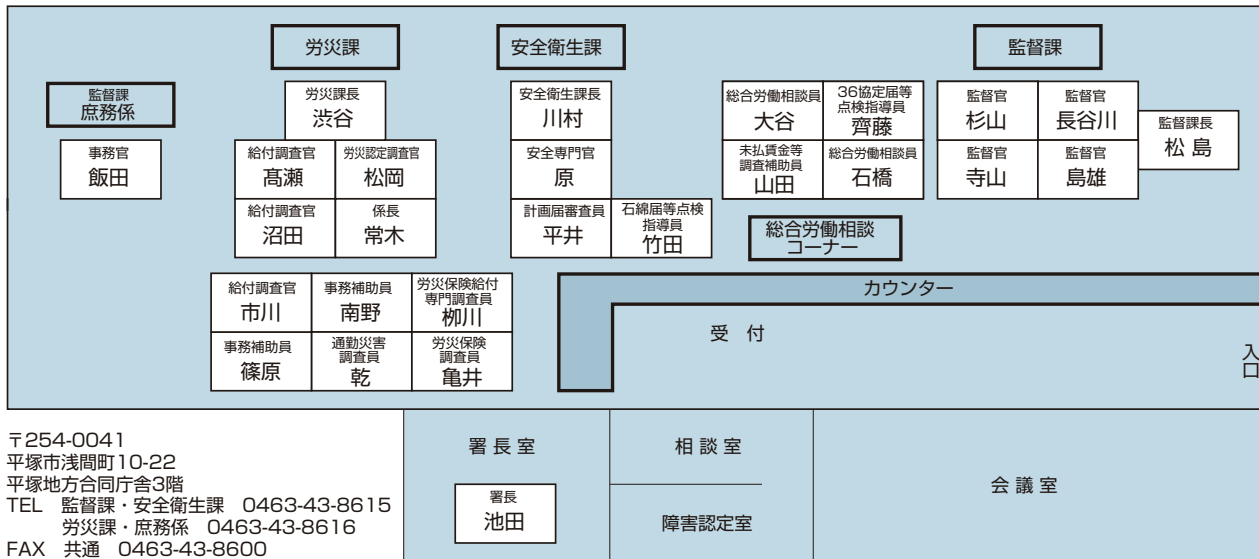


本年4月1日付け平塚労働基準監督署に赴任してまいりました川村と申します。労働災害防止、健康確保対策推進のため、微力ながら最大限努力してまいります。会員事業場皆様方のご理解ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平塚労働基準監督署組織図（平成30年4月1日現在）



平塚労働基準監督署 業務案内・職員配置図



労働災害発生状況(労働者死傷病報告件数)

(平成30年3月31日現在)

		製造業	建設業	運輸業	陸上・港湾貨物 運送取扱業	その他	計
平塚 労働基準 監督署	平成29年	82	41	19	54	237	433
	うち死亡災害	2	0	0	0	1	3
	平成28年	94	51	26	49	227	447
	うち死亡災害	0	0	0	0	1	1
	平成27年	91	65	22	48	218	444
	うち死亡災害	0	0	0	0	0	0
神奈川 労働局	平成29年	1,022	730	353	925	3,521	6,551
	うち死亡災害	6	6	0	5	13	30
	平成28年	1,012	821	338	859	3,568	6,598
	うち死亡災害	3	9	2	2	12	28
	平成27年	1,005	781	351	876	3,498	6,511
	うち死亡災害	4	10	0	7	15	36

雑感

——親不孝な長男の今出来る親孝行

日産車体マニファクチャリング㈱

安全衛生環境課

造田 典和



私の出身は北海道旭川市です。学校卒業後、就職の為に上京し、はや36年が経ちました。両親はまだ健在で、毎年夏休みには帰省し、1年に1回1週間以上両親と1年間の出来事や近況報告をしたり、北海道の美味しいものを一緒に食べに行くのが毎回楽しみです。帰省後、1年間の目標はまた来年も帰省するぞと、365日のカウントダウンが始まります。帰省の目的は親孝行です。実は私は長男で、実家の側に住んでいる弟と2人兄弟です。昨年の11月末に83才の父親が、一人で車を運転し知人のお通夜の会場の下見に行きました。その後母親は父親が待てど暮らせど帰って来ないので、警察に捜索願いを出しました。

父親は場所が分からなくなったみたいで、雪の降る山の上で車の外で倒れこんでしまったようで結果的にはその日

の夜中、雪の除雪をするかどうか判断する為の下見をしていた職員に発見されました。あと1時間発見が遅れたら命はなかったそうです。実は毎回帰省する度に、父親の物忘れがどんどん深刻になって来てるなと感じました。その後、病院で軽い脳梗塞の疑いがあると言われ、現在は薬を飲んで治療しています。私が帰省した時に、毎回少ないかずかいを置いてきますが、年金暮らしの両親は、毎年新米やお芋、玉ねぎ、山芋と冬には鮭、数の子、鯉やホッケ等、毎年送ってくれます。そんな両親に大変感謝しております。体もどんどん衰えて来てる両親に時間は限られていると思いますが、生きてるうちに最大限の親孝行を、これからもしたいと思います。

有機溶剤作業主任者技能講習

去る1月18日(木)、19日(金)の二日間、平塚商工会議所において厚木支部と小田原支部共催で「有機溶剤作業主任者技能講習」が開催されました。支部として初めての開催となりましたが、97名の受講のもと、「健康障害とその予防方法」「作業環境の改善方法」「保護具」「法律」などの座学を二日間学び、最後に試験を受け、講習は終了いたしました。

有機溶剤を取り扱う事業所は、従業員の規模や溶剤の種類にかかわらず、有機溶剤作業主任者技能講習の修了者を作業主任者に選任する必要があるため、受講者は、真剣に聴講されていました。

有機溶剤は、一般に揮発性が高いため、蒸気となって呼吸を通じて体内に吸収、油脂に溶ける性質があること



から皮膚からも吸収され、中毒症状、めまいや頭痛、吐き気などの症状を引き起こします。受講者は事業場にて、有機溶剤を安全に使うための指導、監督の職務を遂行されることを期待いたします。

大東化学㈱ 田中 記

編集後記

神奈川労務安全衛生協会 平塚支部 創立70年おめでとうございます。そして、式典に尽力された皆様、ご苦労様でした。

昨年、前任者より担当を引き継いで、広報部員として1年間活動し初めて記事を書きましたが、中々、思っていたようには書く事が出来ず忸怩たる思いもあります。今年度は皆様に愛読して頂けるよう努力してまいります。

さて、新入社員を迎える季節になりました。弊社では4月5月を新入社員の安全確保を重点テーマとして安全活動に取り組んでいます。まだ、何も解らない新入社員を出社して来た身体の状態で帰社させる事が、最大の目標である「ゼロ災」に繋がる第1歩だと確信しています。会員各社の皆様方も同じ気持ちで安全教育を実施されている事と思います。

輝かしい、平塚支部の70周年を祝った年を今まで以上に良い安全成績の年に行きましょう。

㈱コベルコマテリアル銅管 小山 記